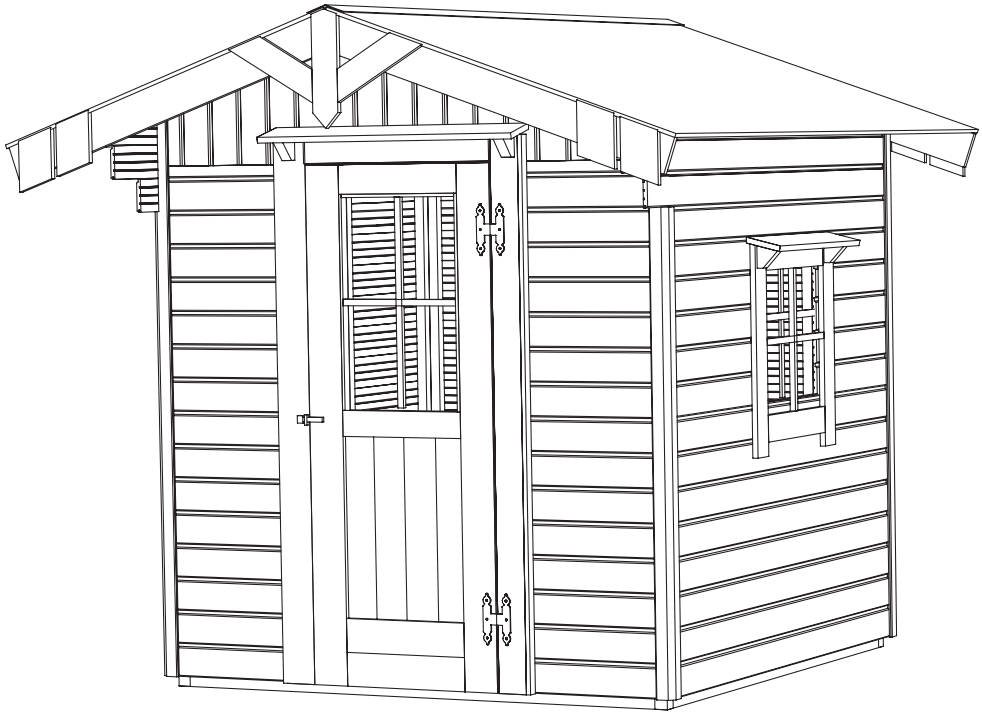
Present from Europe
Garden house

短時間組立て！家族でLet's try DIY！

——— 木の香り溢れる素敵なライフスタイルを ———

SELFBUILD MANUAL セルフビルドマニュアル



PANEL HOUSE 無垢無塗装品［パネルハウス］

CALERA カレラ

このマニュアルは基本的にプチログハウス**CALERA**[カレラ]を例にして説明しています。
他のモデルについては、一部、基本仕様が異なりますので、ご注意下さい。

BIGBOX 株式会社ビックボックス

はじめに

本格ログハウスで培った技術やクオリティーをそのままに、セルフビルドの楽しさを加えてパネルハウスシリーズは完成いたしました。

日曜大工派から本格ビルダー派まで楽しめます。作業工程は想像以上の充実感をもたらしてくれるでしょう。

安全には十分気をつけて「パネルハウスを創る喜び」を存分にお楽しみ下さい。

パネルハウスには、無垢材を使用しています。ひび割れが表面に現れたり反ったりもしますし、カビが生えたり、日焼けをしたりもします。それは「木が生きている」証拠です。

■必要な道具・工具・資材

●必ず用意するもの

セルフビルドを行うにあたって、キット以外に必要な資材や工具を紹介します。各自ご用意下さい。

資材 ●基礎用コンクリートブロック

※傾斜等の状況により、コンクリートブロックの配置だけでは済まない場合、別途専門の基礎業者にご依頼下さい。

●砂、砂利、モルタル等（基礎レベル調整用）

●木部用屋外専用オイルステイン塗料

●コーキング材

●防湿シート

道具 ●脚立　●スコップ

●水平水準器　●水糸

●金づち・釘抜き

●カッターナイフ（大）

●紙ヤスリ　●鉛筆

●バケツ・はけ

●メジャー　●軍手

●養生シート

●ほうき・雑巾・ゴミ袋

●コーキング用ガン

●電動インパクトドライバー

●あると便利なもの

作業効率を上げたり、建物の強度や精度を高めたりする場合に必要な資材や工具を紹介します。

道具 ●さげふり

●ノコギリ

●平面サンダー

●延長コード

※お客様へ
工具・電動工具を使用される場合は必ず、取扱説明書を熟読の上、ケガなどに十分注意して作業を行って下さい。

■参考写真

コンクリートブロック

束石

砂、砂利

スコップ

水平器

水糸

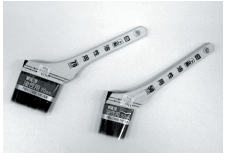
メジャー

インパクトドライバー

脚立

コーキング、ガン

木部用屋外保護塗料

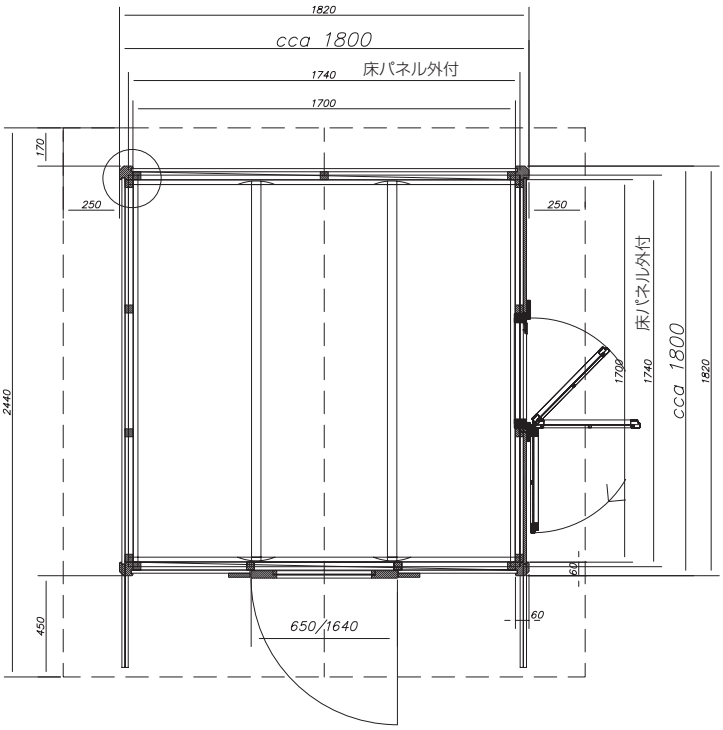

はけ

パネルハウス[カレラ]部材リスト

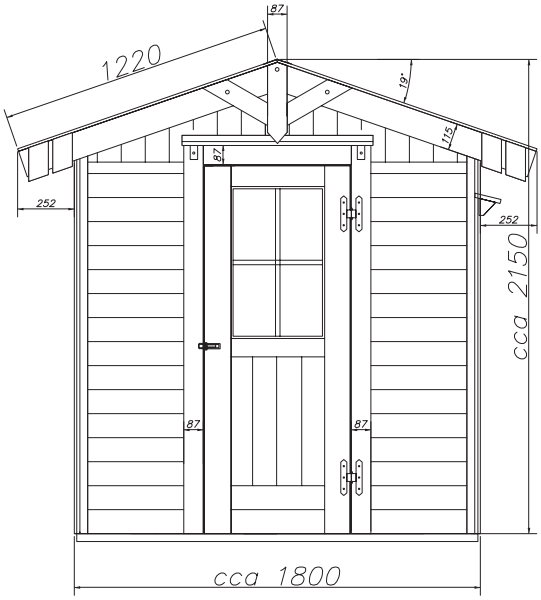
※チェック欄

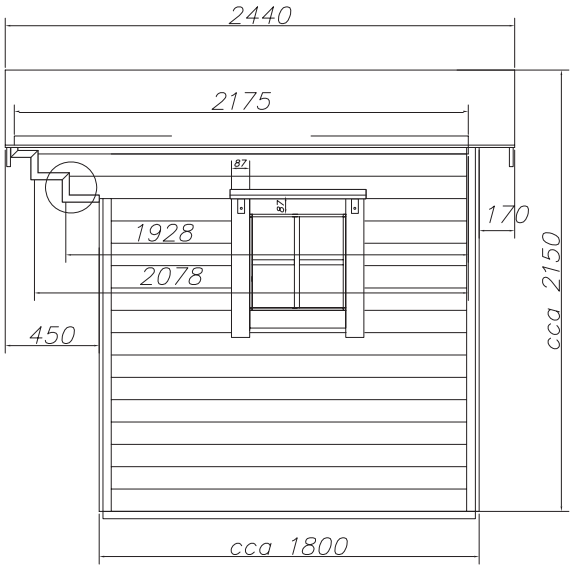
床パネル1740㎜×1740㎜	(組立済)×1枚	
正面壁パネル、ドア付き	(組立済)×1枚	
背面壁パネル	(組立済)×1枚	
右側面壁パネル、マド付き	(組立済)×1枚	
左側面壁パネル	(組立済)×1枚	
屋根パネル・アスファルトシングル貼付け済み	×2枚	
木製ドア(アクリル板付)壁パネルへ取付け済み	×1台	
木製マド(アクリル板付)壁パネルへ取付け済み	×1台	
棟木	×1本	
屋根トップ用水切板金	×1本	
屋根パネル仮固定用ベニア板(屋内側用)	×4枚	
破風板	×4枚	
ドア用アクリル板	×1枚	
マド用アクリル板	×1枚	
ドア用簡易ロック金物	×1セット	
Ⓐ 棟トップ用装飾ピース	(組立済)×2ヶ	
Ⓑ 軒先側用装飾ピース(破風板へ取付け済み)	×4ヶ	
ドア外側上部霧除け板 + 受け2ヶ	×1セット	
マド外側上部霧除け板 + 受け2ヶ	×1セット	
ビス 4,5㎜[太さ]/60㎜[長さ](壁パネル、床パネル、棟木)	×6本	
ビス 5㎜[太さ]/55㎜[長さ](屋根パネル)	×20本	
ビス 4㎜[太さ]/35㎜[長さ](破風板、霧除け、霧除け受け、装飾ピース、屋根パネル仮固定ベニア板)	×60本	
ビス 4㎜[太さ]/20㎜[長さ](屋根トップ用水切板金)	×6本	

図面(平面図、立面図)



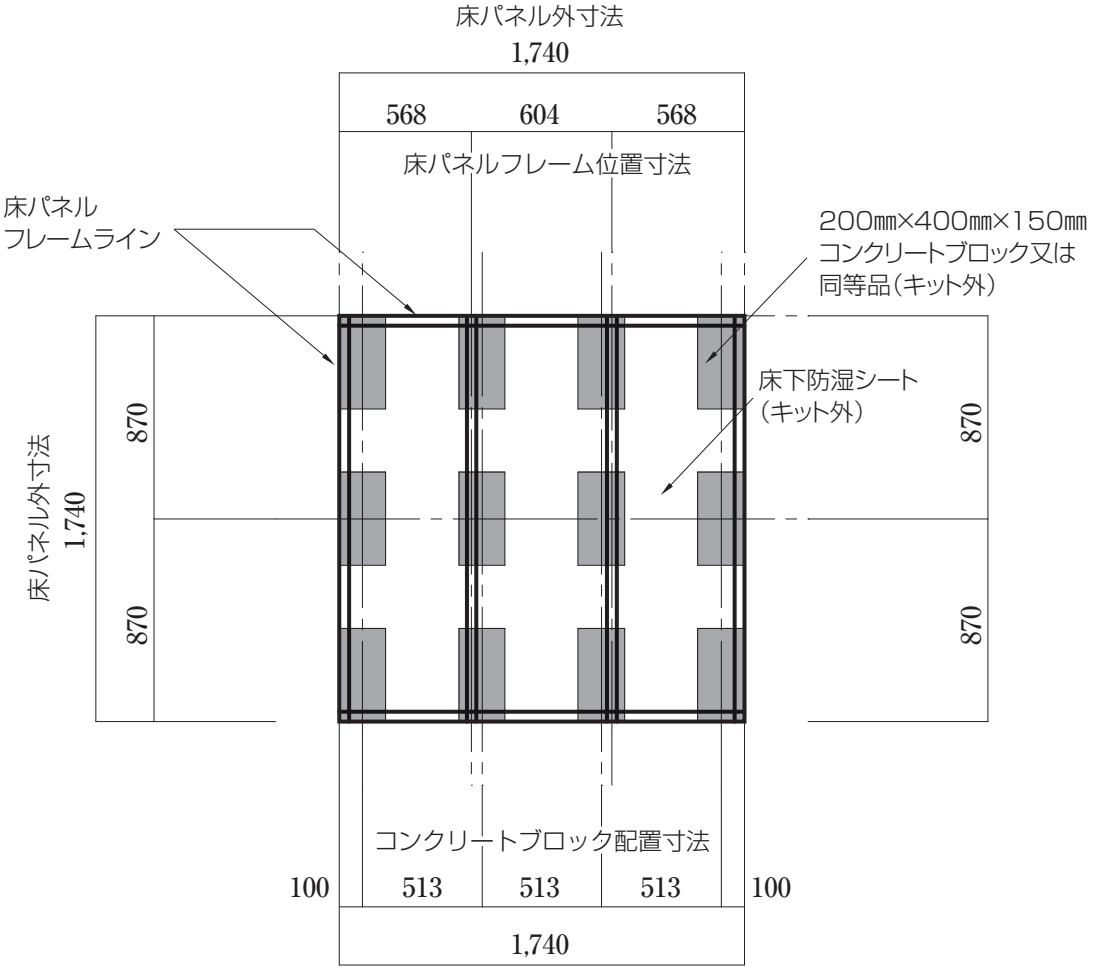
平面図





立面図

パネルハウス[カレラ]
基礎用コンクリートブロック配置



●キット外の防湿シートを建築予定の地面に敷きつめた上に、市販のコンクリートブロック200㎜[巾]×400㎜[長さ]×150㎜[厚み]を12個用意して、図の通り床パネル外寸法に合わせて配置します。

●コンクリートブロックの天端は、極力水平になる様に、水糸などを張って水平器で水平を確認しながら配置して下さい。

●水平がとりにくい状況では、モルタルや砂などを別途用意して、コンクリートブロックの下に施工しレベルを調整して下さい。

※注意）

●床下用の防湿シートは、地面からの湿気が上がらない様にする為の物です。必ず施工して下さい。

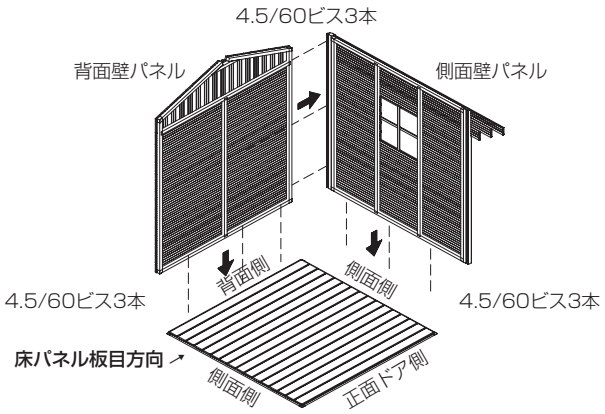
●コンクリートブロック以外に束石200㎜[巾]×200㎜[長さ]×150㎜[厚み]等を利用される場合も、配置については同様です。図の床パネル外寸法に合わせて配置して下さい。

●床パネルは、直接地面に接地せずに必ずコンクリートブロック等を配置して床パネルを乗せ、地面と床パネルの間に空間を確保して下さい。

●基礎に建物を固定せず、乗せている状況なので、強風地域や基礎に固定する場合は、別途ご相談下さい。

パネルハウス[カレラ]組立て手順

① パネルハウス組立て開始!



●組立て予定の場所にコンクリートブロック等を別途基礎図に合わせて配置し、床パネルをのせる為に水平を確保して下さい。

●床パネルのフレーム側裏面と側面に別途用意の屋外用塗料を全面に塗布してから床パネルを設置します。

●床パネルを先に配置したコンクリートブロック等にのせる際に床板の板目方向に注意して設置して下さい。

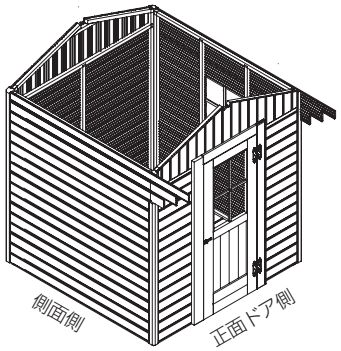
●背面側の壁パネルと側面側の壁パネルを、床パネルの上にのせ壁パネルコーナー部分のみを、まず先に付属のビスで固定します。

※注意）

•壁パネル4枚の設置場所を事前に確認して下さい。この際、壁パネルと床パネルはまだ固定しないで下さい。

---

② 壁パネル完成



●同じ手順でのこり2面の壁パネルを設置して、壁パネル同士を付属のビスで固定します。

●4面の壁の位置を調整した後に壁パネルと床パネルを付属のビスで固定して下さい。

※注意）

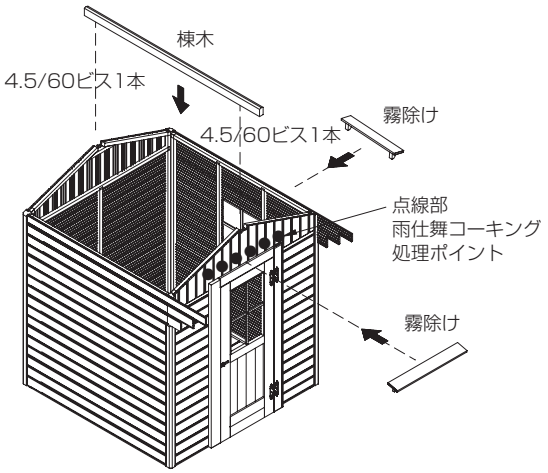
•ドアとマドは、壁パネルに取付け済みです。

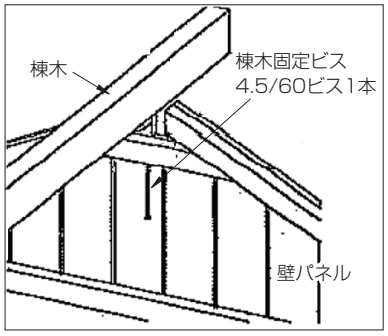
•ドアは安全の為、組立て時に開かない様にドア下に、開閉防止の仮止め金具が付いていますので壁を立てる際に外しておいて下さい。

•壁パネルの各コーナー部が直角になっているか屋内側のコーナー対角線を計って確認して下さい。

---

③ 棟木と霧除けを設置





●屋根パネルをのせる為の棟木を設置し、付属のビスで固定します。

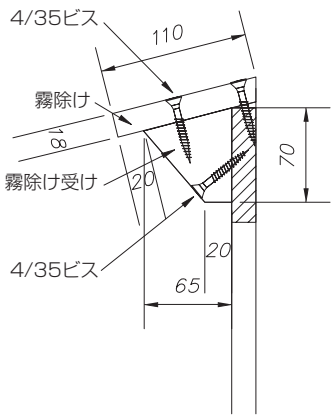
●ドアとマドの上部に霧除けと霧除け受けを付属ビスで固定します。

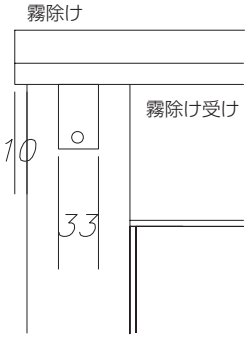
※注意）

•棟木は正面側の方が長く張り出します。屋根パネル側の軒先の出寸法に合わせて下さい。

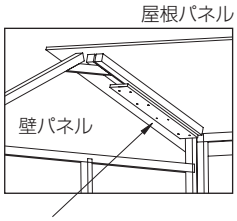
•強風地域などでは、ドアとマドの上部へ霧除けを取り付ける前に、コーキングポイントへ、キット外のシリコンコーキングを施工して下さい。

霧除け納め!

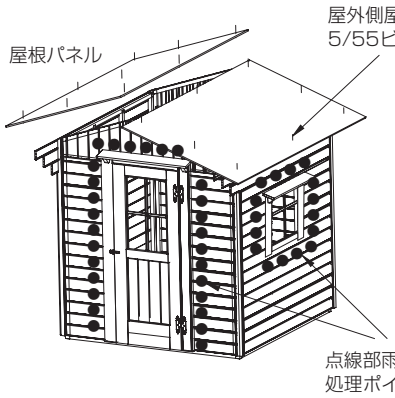




④ 屋根パネル設置



屋内側屋根パネル仮固定用ベニア板4ヶ所設置
4/35ビス8本



●アスファルトシングル材側を上面にして、屋根パネルをのせて屋内側より仮固定の為のベニア板を付属ビスで固定します。

●更に屋根パネル屋外側より壁パネルのフレームと棟木に対して、付属ビスで固定します。

※注意）

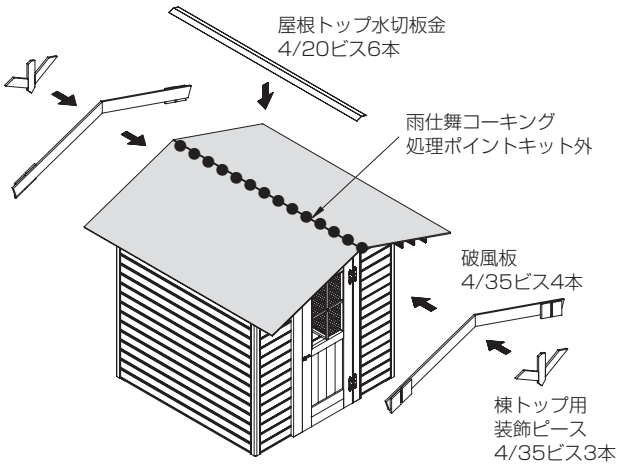
•屋根パネルには向きがあります。正面側の軒の出が大きくなる様に向きを確認して下さい。

•屋外側から取り付けるビスは屋内側のフレーム位置に合わせて下さい。

•屋外側からの固定ビスが、屋根のアスファルトシングルを貫通してもアスファルトがビスに密着する為、雨漏りしません。この際、ビスの頭がアスファルトシングル材を貫通したり、めり込みすぎない様にして下さい。

•コーキングポイントにキット外シリコンコーキングを施工。

⑤ 破風板、装飾ピース、屋根トップ水切板金取付け



●屋根パネルのトップ部、隙間にキット外のシリコンコーキングを充填して下さい。(必須)

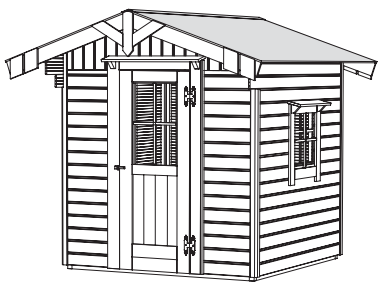
●雨が入らない様にした後、屋根トップ水切板金を付属ビスで固定します。

●破風板と装飾ピースを付属ビスで取り付けます。

※注意）

•コーキングポイントにキット外シリコンコーキングを施工

⑥ 完成!!



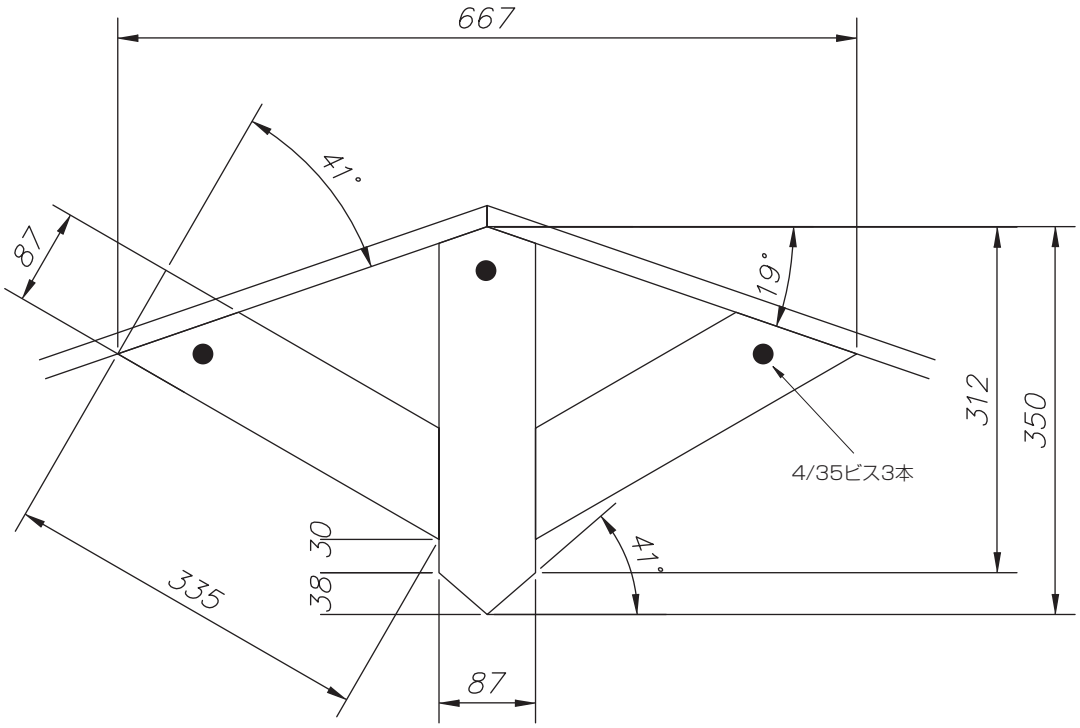
●ドアに簡易ロック金物を付属ビスで取り付け完成です。

●完成後に屋外側は外壁、建具、破風板、軒先も含め一式、木部用屋外専用オイルスティン塗装を必ず行って下さい。

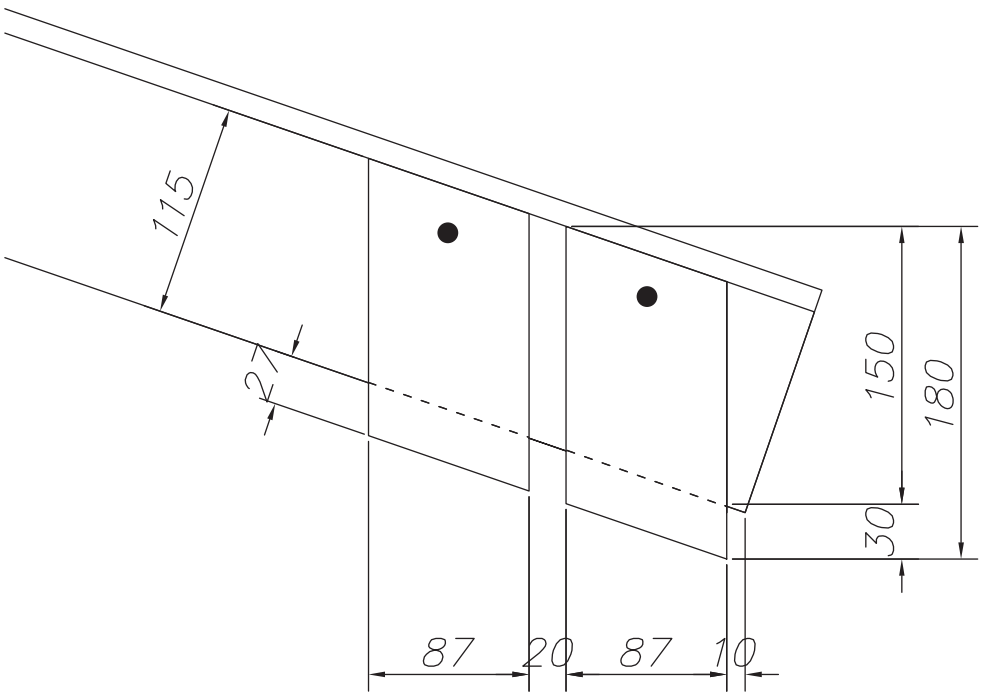
●カラフルな塗料も御座いますので、ご相談下さい。

装飾ピース詳細

Ⓐ 棟トップ用装飾ピーズ（組立済）破風板に現場で取り付け（必須）



Ⓑ 軒先側装飾ピース（破風板に取り付け済）



パネルハウスメンテナンス、その他

●塗装

外壁の塗り替え時期は建物建築後2～3年を目安とします。建築地の条件にもよりますので、外壁の様子を見てご判断下さい。塗り替え時には必ず壁面の汚れやホコリをきれいに取り、薬品であく洗いとカビ取りをしてから行って下さい。壁面が完全に乾いた状態で、塗装面の上方から刷毛塗りを行います。又、雨あたりの激しい壁の下部（周辺）は、極力1年に1度は、上塗りを行って、材料表面の撥水性を高めて下さい。

Q&A

Q1 :道路が狭く納品時にトラックが入れない場合は?

A1:比較的広めの場所で梱包を開け、軽トラックなどに移し変えて運んで下さい。

Q2 :布基礎の場合の土台は?

A2:基礎を布基礎とし、アンカーボルトで別途土台等を固定し床パネルを土台へ設置する場合は、別途アンカーボルトや固定用のビスを用意して下さい。床パネルのフレーム寸法の都合上、床パネルを直接基礎のアンカーボルトで固定する事は出来ません。必ず別途角土台を用意して下さい。

Q3 :土台用の角材（キット外・角材105㎜や120㎜など）を使用する場合

A3:まず、土台となる角材を基礎の上に乗せて、角材と床パネルの外面が揃うように配置します。固定の仕方としては、基礎と土台用角材をアンカーボルト等で固定し、土台用角材と床パネルを別途用意のビスで固定して下さい。

Q4 :建具のアクリル板が割れた場合は?

A4:最寄りのDIYショップなどで、アクリル板を購入していただき交換して下さい。

Q5 :カビが発生した場合の対処方法を教えて下さい。

A5:専用の薬品で処理できますので、DIYショップでご購入いただくか、弊社にご注文下さい。ただし、発生から長期間経過している場合は、落とせなくなる恐れもございますので、発見後すみやかに処理を行って下さい。

Q6 :コーキング処理をする場合。

A6:雨漏り防止や気密性を高める為コーキング処理をする場合、ログ壁交差部にコーキング材を施工して下さい。又、マニュアル中に表示の建具まわりのコーキングポイントへ施工する事で、強風地域などに対応可能です。

Q7 :別途の釘やビス類について

A7:キットに組立て必要なビスが、同梱されています。より強固にする場合や、別途木製デッキを作る場合など、デッキ用の材料などと合わせて、最寄りのホームセンター、もしくは金物店でお買い求め下さい。キット内の部材を必ず使わなければ完成しないという訳ではございませんので、アレンジする場合などは、用途に合わせて適材をお求めになられる事をお勧めします。

Q8 :窓を追加する場合は?

A8:追加用の窓をキット本体と別にご購入いただいた場合、窓を追加する部分を電動丸ノコやチェーンソー等を利用して切り抜いて開口して下さい。壁に大きな開口をあける場合、その分強度が落ちる事になるので開口の位置や大きさに十分注意して下さい。壁パネルのフレームは極力カットしないで納まる様に建具の大きさを選定下さい。

Q9 :電気配線について

A9:壁の中に隠蔽配線は出来ません。配線が露出となりますので、極力目立たない場所に配線して下さい。又、電気工事は専門の業者に依頼して行って下さい。

Q10 :断熱工事について

A10:構造上断熱材を施工する前提となっていません。通常は断熱工事を行わずキットの標準仕様のままご利用下さい。

特記事項

この度は、ガーデンハウスシリーズを、ご購入いただきましてありがとうございます。ガーデンハウスシリーズ「パネルハウス」及び「プチログハウス」は本格的な住宅向けの大型ログハウスやミニログハウスシリーズとは、全く異なるコンセプトからなる商品です。セルフビルドの楽しさや充実感をもっと気軽に楽しんでいただく為に、仕様や構造を極端に簡便な状態にしており、使用目的もガーデニング用の物入れ等を前提としている為、住居としての使用や重要な物品を収納する為の物としては適しておりません。これらをご了承の上ご利用下さい。

メモ

SELFBUILD MANUAL

［セルフビルドマニュアル］

■企画編集:株式会社ビックボックス
■デザイン:株式会社エーエーシー

■注意事項

1.このマニュアルの一部または全部を株式会社ビックボックスの書面での許可なく無断で使用・複写・複製することはその形態を問わず禁じます。

2.このマニュアルに記載されている内容は、2010年1月現在のものです。記載内容は、予告なく変更する場合がありますので、ご了承下さい。

3.新商品の発売や仕様改善等により、本マニュアル内容と沿わぬ場合がありますので、ご了承下さい。

4.弊社は第三者の製品等については、情報・記述に関して責任は負いません。

5.このマニュアルの内容はについては、万全を期して制作していますが、万一お気付きの点がありましたら、ご連絡いただけますようお願いいたします。

■販売店

BIGBOX 株式会社ビックボックス
栃木県知事許可（般-17）第16716号 一級建築設計事務所栃木県知事登録（A）第3088号
本社／栃木県宇都宮市簗瀬町2357 TEL:028-634-1236 E-mail:info@fin-bigbox.com

いいなログハウス 0120-117698 BB・WEB 情報満載 随時更新 www.fin-bigbox.com